

## 8-4-19 道路専門委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 道路専門委員会の開催

委員会開催回数：10回（4月～1月）

#### (2) 対外活動

##### a) RCCM 登録更新教材の更新

「道路」及び「トンネル」について改訂作業を行った。両分野とも、法や基準の改訂に伴う修正、出典や演習問題の整理・調整を実施した。

##### b) 視察（支部との連携強化）

道路交通技術に関する現地での知見・知識取得や支部との交流を目的とした視察は、昨年度に続き取りやめとした。支部との交流強化や知見・知識の修得は、必要かつ重要課題であり、次年度、社会状況を踏まえて実施を検討する。

##### c) WG 活動

当委員会では、以下の主な5つのWGの活動記録について記述する。

##### ① 設計システム WG

委員会社の若手技術者が集まり、「性能照査型道路計画・設計」に対して、「機能階層型道路ネットワークのためのガイドライン(案)」ブラッシュアップのため事例検討を継続した。

##### ② 品質向上 WG

過年度から継続し、設計ミス防止、品質向上を目指した「品質セミナー」の実施に向けてのエラーの事例集収集、作成及びセミナー講師として参画した。「道路・トンネル」部門は多数受講され、高評価を得た。

##### ③ 勉強会 WG

令和5年1月に道路専門委員会セミナー「大震災からの復旧・復興と地方都市のまちづくりの現状から今後の道路のあり方について考える」を開催した。本年度も、コロナ禍の開催となったことから、セミナーは当専門委員会委員のみ参加し、協会員へは後日（3月）、協会HPからのビデオ配信とした。

・ 講師：福島工業高等専門学校  
都市システム工学科教授

齊藤 充弘 様

- ・ 目的：東日本大震災から10年が経過した福島県の現状を中心に、震災からの復興に与えた道路の役割について理解するとともに、防災や地域振興と道路の関わりや今後の課題について理解を深める。
- ・ 背景：東日本大震災以降も熊本地震などが発生し、震災に対して益々注目されている。今後のまちづくりや道路整備を考えるうえで、過去の経験や現在の対応状況、今後の動向などを理解することが重要であり、また、まちづくりや道路整備が、安全で地域発展に寄与する必要性が高まっている。
- ・ 内容：東日本大震災から現在までの復興やまちづくり、道路整備について、様々なデータや地域の現状から振り返り、まちづくりの将来像などの観点から今後の道路のあり方を考える。

##### ④ 対外活動 WG、外部 WG 等への参加

NEXCO 総研や首都高速道路(株)とは歩掛等について、過年度に引続き意見交換を行った。

上記本部活動の他、公共測量やPRISM運営委員会などの測量関連、社整審道路技術小委員会や土工性能WG、道路土工性能評価WGなどの道路防災関連についても対応した。

##### ⑤ 無電柱化 WG

無電柱化WGでは、昨年度の継続で、国土交通省 無電柱化推進部会コンサルWGに参加し、低コスト化に向けた技術開発を推進した。

##### d) CIM・i-Construction への取り組み

国交省、及び国土地理院の活動に参加した。

### 2. 次年度の活動について

今年度の活動を継続実施するとともに道路、トンネルを取り巻く課題に取り組む。

(道路専門委員会委員長 石村 佳之)